



# 平成29年度 施政方針及び当初予算の概要

福祉や教育、土木などの基本的な行政経費を計上する一般会計の本年度予算額は351億5,000万円で、前年度と比較すると、額にして4億6,200万円、率にして約1.3%の増となりました。

## 平成29年度のスタートにあたって（施政方針）



鴻巣市長 原口 和久

日頃より市政の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、平成17年の合併以後、合併時の「新市建設計画」を基本とした第5次鴻巣市総合振興計画を策定し、鴻巣駅東口など3駅の駅前広場の整備をはじめ、三谷橋大間線の立体交差化や、川里地域と北鴻巣を結ぶ渋井橋の架け替え、また、各地域の拠点施設であるコスモスふきあげ館及びかわさと館の整備等、3地域の均衡ある発展と一体性の確立に努めてまいりました。

まちづくりの成果を「平成28年度まちづくり市民アンケート」の結果で見えますと、鴻巣市は「住み良い」及び「どちらかと言えば住み良い」と回答した方が52.4%と、平成18年と比較して19ポイント増加しており、2人に1人以上の方に住み良いと感じていただいております。

また、総務省発表の住民基本台帳人口移動報告によると、平成27年が100人、平成28年は98人、転入者数が転出者数を上回っており、平成28年の転入超過の年齢別分析によれば、0歳から9歳までが119人、30歳から54歳までが108人となっています。この結果を見ると、子育て世代の親子の転入が多いことが特徴となっており、市外の方にも子育てに適した、住んでみたいまちに選んでいただけたものと受け止めております。

そこで、平成29年度は、これまでの第5次鴻巣市総合振興計画のまちづくりの方向性を継承しながら、今後の10年を計画期間とする第6次鴻巣市総合振興計画に基づく6つの政策を確実に推進することにより、人口減少の抑制、人口減少社会への適応というこれまでに経験したことのない課題へ取り組んでまいります。

特に、子育て環境の整備に向けては、総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」や「母子健康包括支援センター」を設置するほか、保護者の求める情報や保護者の気持ちに寄り添った支援を行う「保育コンシェルジュ」を新たに配置します。

また、小学校児童の学力向上を目指し、「学力向上支援員」8名を配置するなど、きめ細かな教育を推進するほか、高校受験とインフルエンザの流行時期が重なる中学3年生を対象にインフルエンザ予防接種費用の補助や、通学路の安全対策に特化した予算等を確保しました。

健康づくりでは、介護保険法の改正による介護予防・日常生活支援総合事業がスタートします。また、新たに整備した新宿第1公園を含めた全4箇所の公園で「すこやか健康教室」を定期的に開催するほか、健康ウォーキングポイント事業の定員拡大や、介護予防の観点から「のすここ体操」の普及啓発など、市民の皆さんの健康づくりを推進します。

基盤整備では、平成31年に完成予定の鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業への支援や、吹上駅自由通路改修の設計委託、三谷橋大間線II期整備事業の推進、渋井橋の架け替え後の更なる利便性の向上に向けた、茜通りと工業団地通線を結ぶための現況測量業務を実施するとともに、北新宿第二土地区画整理事業及び広田中央特定土地区画整理事業の進捗を図ります。

未来を担う重要課題への取組として、新ごみ処理施設建設に向けた環境影響評価の調査や、「道の駅基本計画」の策定、継続した総合病院の誘致、人にも生きものにもやさしいコウノトリの里づくりの実現に向けた啓発活動等を実施してまいります。

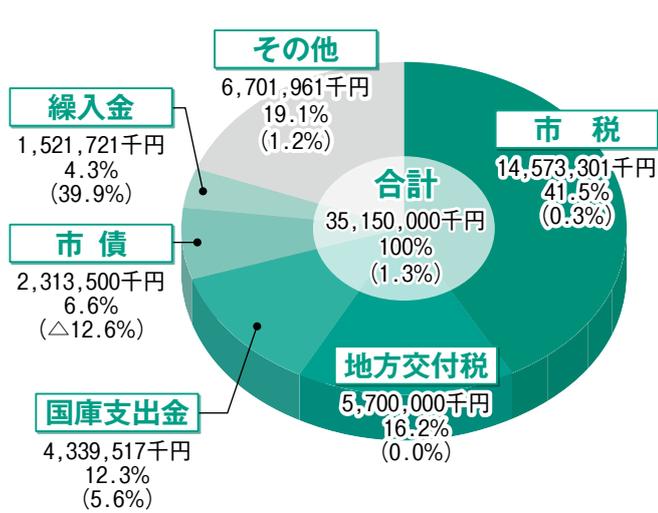
さらに、市民サービス向上の取組としては、マイナンバーカードを使用し、コンビニエンスストアで住民票等の各種証明を発行するコンビニ交付事業を10月から開始します。

少子高齢化や定住促進への取組では、新たに構築した婚活こうのすマッチングシステムを活用した出会いの場の提供や、圏央道の開通や上尾道路の延伸を契機とした、県との連携による企業誘致の促進に向けての取組、雇用創出、地域経済の活性化を図ってまいります。

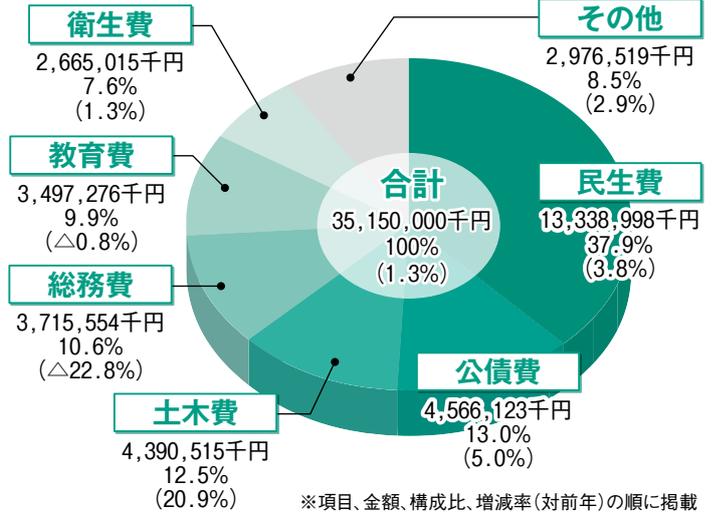
これらの多種多様な事業を積極的に展開しながら、第6次鴻巣市総合振興計画にある将来都市像「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」を創造してまいりますので、引き続き市民の皆さんのご理解・ご協力をお願い申し上げます。



## 一般会計 歳入



## 一般会計 歳出



※項目、金額、構成比、増減率(対前年)の順に掲載

単位:千円

区分	項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額
一般会計	市税	14,573,301	14,525,552	47,749
	地方交付税	5,700,000	5,700,000	0
	国庫支出金	4,339,517	4,109,110	230,407
	市債	2,313,500	2,645,800	△332,300
	繰入金	1,521,721	1,087,776	433,945
	その他	6,701,961	6,619,762	82,199
	<b>歳入合計</b>	<b>35,150,000</b>	<b>34,688,000</b>	<b>462,000</b>

単位:千円

区分	項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額
一般会計	民生費	13,338,998	12,846,379	492,619
	公債費	4,566,123	4,350,056	216,067
	土木費	4,390,515	3,630,891	759,624
	総務費	3,715,554	4,812,584	△1,097,030
	教育費	3,497,276	3,526,361	△29,085
	衛生費	2,665,015	2,630,021	34,994
	その他	2,976,519	2,891,708	84,811
	<b>歳出合計</b>	<b>35,150,000</b>	<b>34,688,000</b>	<b>462,000</b>

## 会計別予算総括表

単位:千円、%

区分	会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減率	
一般会計	一般会計	35,150,000	34,688,000	1.3	
	特別会計	国民健康保険事業	15,064,000	14,589,000	3.3
		農業集落排水事業	126,000	115,000	9.6
		介護保険	7,783,000	7,310,000	6.5
		北新宿第二土地区画整理事業	525,000	500,000	5.0
		広田中央特定土地区画整理事業	254,000	124,000	104.8
		後期高齢者医療	1,191,000	1,163,000	2.4
		水道事業会計	3,081,869	3,099,214	△0.6
	下水道事業会計	4,731,922	4,535,151	4.3	
	<b>合計</b>	<b>67,906,791</b>	<b>66,123,365</b>	<b>2.7</b>	

問い合わせ/財政課(内線2233)



## 一般会計歳出 性質別内訳

単位:千円、%

区分	性質別	平成29年度		平成28年度		比較		
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
消費的経費	義務的経費	人件費	5,934,135	16.9	6,089,031	17.6	△154,896	△2.5
		扶助費	7,456,656	21.2	7,188,918	20.7	267,738	3.7
		公債費	4,566,095	13.0	4,350,028	12.5	216,067	5.0
		その他	17,956,886	51.1	17,627,977	50.8	328,909	1.9
	消費的経費	物件費	6,455,535	18.4	6,367,807	18.4	87,728	1.4
		維持補修費	469,265	1.3	386,087	1.1	83,178	21.5
		補助費等	4,659,681	13.3	4,674,524	13.5	△14,843	△0.3
		合計	29,541,367	84.1	29,056,395	83.8	484,972	1.7
投資的経費	普通建設事業費	1,838,626	5.2	2,148,096	6.2	△309,470	△14.4	
	災害復旧事業費	5	0.0	5	0.0	0	0.0	
合計	1,838,631	5.2	2,148,101	6.2	△309,470	△14.4		
その他	積立金	216,423	0.6	469,506	1.3	△253,083	△53.9	
	投資・出資金・貸付金	69,849	0.2	71,489	0.2	△1,640	△2.3	
	繰入金	3,444,605	9.8	2,909,518	8.4	535,087	18.4	
	予備費	39,125	0.1	32,991	0.1	6,134	18.6	
合計	3,770,002	10.7	3,483,504	10.0	286,498	8.2		
<b>合計</b>	<b>35,150,000</b>	<b>100.0</b>	<b>34,688,000</b>	<b>100.0</b>	<b>462,000</b>	<b>1.3</b>		